

図書室
今月のお知らせ
社会教育センター図書室
☎ 28・5449

新刊



児童書
たまごにいちちゃんとげんちゃん
(幼児向け)
あきやま ただし 作絵
(鈴木出版)

大事なたまごにひびが入るのを心配して、石をよけながら歩いているたまごにいちちゃん。とても元気な友達げんちゃん、いつも石の上をとびながら走ってくるけど、必ず失敗して…。たまごにいちちゃんシリーズ。



一般書
こんにやく食堂
柳澤 英子 著
(小学館)

低糖質、低カロリー。カルシウムや食物繊維、セラムドが豊富なこんにやく。えびチリこん、坦々こん、こんにゃく豚のしょうが焼きこんなど、カラダによくて、使い勝手がいいこんにやくを使ったレシピを紹介します。



一般書
日本の絵本
吉田 新一 著
(朝倉書店)

著者が少年期(戦中期)に触れた絵本への愛着。そして当時もその後も知らなかった絵本の発見から覚えた新鮮な驚きについて、多数の絵本を紹介しながら丁寧に解説。



一般書
あゝの絵のまえで
原田 マハ 著
(幻冬舎)

ゴッホ、ピカソ、セザンヌ、クリムト、東山魁夷、モネ。人生の脇道に佇む人々があゝの絵と出合い、再び歩き出す…。アート小説の名手による極上の小説集。

豊山俳句クラブ 青山克己 選

春つらら模様の違ふティカップ

追憶やペンペン草と若き母 田村多喜子

花餅をゆらして風の甘き街 坪井昭子

もの言わぬ期会の落椿 東海林宗義

つくしんぼ塊の小宇宙 杉浦みどり

菜の花や村の役場に振興課 水野眞弓

点滴の針の太さや二月尽 石黒貴代子

スプリングコート今日のリップは桜色 青山とも子

凍ゆるむ滝に小さな音生まれ 谷崎 琴

道化師が春の顔して笑つて 岡島 齋

ひとり居や雲ひとつなき冬の月 高木須磨子

ハイタッチして少年や春の風 山下敬太

三軒先の軒家から沈丁花 小路八百子

工房に木屑の匂ひ日脚伸ぶ 黒澤裕子

まだ少し花には早きおぼろかな 坪井径子

青山克己

豊山歌壇 水野笑子 選

夜空見ること無きまま過しゐて 宮沢賢治の「星巡り」聴く

冬の日を日々短歌作りを続けをり何処かで白き花の咲くらむ 山田 米

三代の御代を生き来し吾なれど米寿迎へて生き方想ふ 小出寿枝

木枯らしの吹雪くことなく雨の降る 柴田満枝

朝の空光射し初め昇り来る初日に人ら頭を垂る 中澤芳子

屋根を染め昇る初日は耀きて令和二年に歓声あがる 渡辺トヨ子

土俵上を小兵力士の動き良く弁慶に挑む牛若のごと 荒川昌枝

くつきりと天の川見え幾つもの流るる星に見惚れし日遙か 柳千鶴子

早朝にレースのカーテン透かし見る細き半月白く鋭し 一柳千鶴子

相変わらず乱れし髪を揺らしつつピアノに向かふヘミングウェイ 水野笑子

美しきままに書棚に並べらる我が蔵書たちを思ふこの頃

水野笑子

編集後記

令和という時代が始まって今月でちょうど1年になった。1年前の今頃を振り返るとラグビーのワールドカップ日本開催が3か月後に控えていた▼アジア初のワールドカップ開催において、ラグビー日本代表はベスト8進出を成し遂げ、その快挙に日本中が沸き上がった。ほとんどの人が大会開催まで日本代表が決勝トーナメント進出を果たすとは予想していなかっただろう。令和元年の東日本を襲った二つの巨大台風の襲来を予想できた人もいなかったはずである。もちろん、令和2年5月現在で世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症の拡大を予想していた人も、去年の今頃には誰もいなかったと思う▼予想のつかないことが次々と起きる令和時代でも確実にいえることとして、子どもの成長があげられる。子どもの成長が止まったり、逆転したりすることは決してない▼町が「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもの成長と子育ての支援を図るのは、予想がつかない未来に対しても確実に伸びゆく新しい世代を守り育てていくためである。それは行政だけの力で達成できるものではない。町民や町内の団体の皆様のお力も欠かせない。「子どもが、親が、みんなとともに育つ」とよやま」に向けてご理解とご協力をお願いします。